



学校教育目標
「夢をいただき、強くたくましい子どもの育成」

平成29年11月2日 No.27

能代市教育委員会教育長さんが訪問されました。

10月26日(木)は能代市教育委員会の教育長訪問でした。教育長さんを始め、4名の教育委員会の皆さんが、朴瀬小学校を訪問され、子どもたちの勉強の様子を見ていただきました。

3クラスを見ていただきましたが、どの学級でも、子どもたちが、学習課題に向けて真剣に考え、取り組んでいる姿がありました。先生方の指導を素直に聞き作業を進めたり、友達同士で話し合ったりしながら、授業に集中しておりました。

授業参観を終えた後の話合いでは、教育委員会の皆様方より、「受け答えがしっかりしている」「朴瀬小学校のプライドをもって生活していることを感じる」「よい人間関係の中で、子どもたちが主体的に学習している。学び方が育っている」等のお言葉をいただきました。

また、「前に訪問した時よりも子どもたちの成長を感じる」というご感想もいただきました。子どもたちの頑張り、成長を褒めてくださった、このことを励みとして、さらに頑張りたいと思います。

また、たくさんの助言をいただきましたので、子どもたちの更なる学力向上を目指して、全職員で努力していきたいと思っております。



【1年生 算数 自分でシートを選んで、問題解決に取り組みました】



【2年生・3年生 算数 先生の指導を受けながらも自分たちで学習を進めるようになりました】



【4年生・5年生 国語 課題に向かって、自分たちで話し合い、問題を解決していました】

避難訓練（緊急地震速報への対応）

11月1日（木）には地震を想定した避難訓練を行いました。能代市の防災放送でもこの日に緊急地震速報の試験放送が流れておりましたが、この日に全国各地で同様の避難訓練が行われたことと思います。

緊急地震速報を聞いてから、何秒か後に地震が起こります。その間に、何をどうして、自分の安全を守るかが今回の訓練の重点でした。そのために、本日、避難訓練を行うことは告げましたが、いつ実施するかは子どもたちに伝えずに行いました。

13時10分、訓練開始です。昼休みでした。

「ただいま、緊急地震速報があり、大きな地震が来ます。安全な場所にすぐに避難しなさい」全校に放送が流れました。そして、数秒後、「今、大きく揺れています。安全を確保してください。」と続けて放送を行いました。

子どもたちは、体育館、教室、階段等様々な場所におりました。そして、安全な場所を見つけて座り、頭を隠し、避難していました。突然の放送で、場所も様々でしたが、自らの命を守るため、自ら考え、行動することができていました。また、上学年が下の学年の子へ声かけをして、行動することもできていて、立派だと思いました。

その後、体育館へ移動して、人数確認をしました。

地震はいつ起きるか分かりません。自分がどこにいても、自分の命を守る行動ができるようにしてほしいと思います。お家でも、話題にさせていただき、家にいる時の避難について話し合っていたいただければ幸いです。



【体育館・教室で場に応じて避難しました】



【頭を守りながら移動】

11月1日は「あきた教育の日」

11月1日は「あきた教育の日」です。これは、秋田県発展の原動力は「人」であり、「人」は財産と捉え、県民一人ひとりが教育に関心をもち、学校・地域・企業などが連携・協力しながら子どもたちを育て、県内外で秋田の発展を支える「人」となることを願い、設定されたものです。県内では10月から11月にかけて、教育に関する様々な行事やイベントが開催されます。

本校では、先に学校報等でもご紹介しておりますが、10月に地域の皆様の協力を得ながら、ふるさとが学びのフィールドということで、農業体験活動を行い、学習発表会等で成果を発表しました。

これからも皆さんと共に、朴瀬小学校の子どもたちが秋田の発展を支える「人」となることを願い、取り組んでいきたいと思っております。

「読書週間」によせて ～全校朝会での話～



11月の全校集会では、10月27日から11月9日までの「読書週間」によせて、読書についてお話ししました。以下、お話しした内容です。

読書の大切さについて、今日はお話しします。

皆さん、スポーツ選手が、多くの時間、体を鍛えるトレーニングをしているのは知っていますね。野球やバスケットなど、その競技の練習だけでなく、体を鍛え強くするために、腹筋をしたり、腕立てをしたり、スクワットをしたりしますね。

読書は、スポーツに置き換えると、頭のトレーニングになります。多くの本を読むことで、考える力、想像する力、人を思いやる気持ち、たくさんの知識や知恵、言葉の使い方など、たくさんのことが鍛えられます。物語を読むにしても、主人公の姿、住んでいる場所、他の登場人物の姿は、自分で考えるしかないのです。自分で主人公の姿を考えて、文を読み、物語の世界を創っていきます。ですから、読書をすることで「自分の頭で考える力」がどんどん育ってきます。

最初は1冊の本を読むのに時間がかかっても、2冊、3冊と読んでいくうちに、頭が鍛えられてくるので、読む速さも速くなり、内容の理解も正確になってきます。

みなさん、今は読書週間です。自分の頭を鍛える上でも図書館の本を手にとって、読書してみてください。そのうち、読書が楽しみになる人になるかも知れません。

今日から、ぜひ取り組んでください。